

編集後記

本号は、論文一編、研究ノート二編、資料紹介一編を掲載しています。

坂本・宮田論文は、青葉区の稲荷前弥生集落址の内容を分析し、同遺跡が朝光寺原式土器の分布圏における土器、集落のありかたを説明するうえで重要な意義を有すると指摘する意欲的な研究です。

二本の研究ノートは、どちらも当館の博物館活動の成果が反映された研究です。仲泉研究ノートは、近年当館に寄贈いただいた長津田村の古文書を丹念に読み解き、旗本知行所における村役人と村政運営の実態を明らかにしたものです。神野・花澤研究ノートは、證菩提寺の阿弥陀三尊像について、中尊の構造技法についての新たな見解を中心に紹介するものです。令和五年（二〇二三）に行われた修復と、当館での文化財展への出陳に際して行われた調査研究の成果が反映されています。

中村・平山資料紹介は、地域の顔面装飾のうちこれまで未図化であった泉日向遺跡・阿久和宮腰遺跡・青ヶ台貝塚・C17遺跡の資料を図化し、その位置づけを検討しています。

本号の内容は、当館と当館に集う方々の多彩な活動の成果です。多くの方に読んでいただき、広く活用いただければ幸いです。

（小林紀）

横浜市歴史博物館 紀要 第二十九号

二〇二五年三月 発行

編集 横浜市歴史博物館

横浜市都筑区中川中央一―一八―一

電話 〇四五―九一二―七七七七(代)

発行 公益財団法人 横浜市ふるさと歴史財団

制作 株式会社佐藤印刷所